

# 再処理工場など 原子燃料サイクル施設周辺の 環境放射線等調査結果

2025年4月～6月

調査結果

これまでと同じ水準であり、  
当社施設からの影響は認められませんでした。

調査のながれ

監視測定



評価・確認

青森県原子力施設  
環境放射線等監視評価会議※



※放射線の専門家により構成される会議

公表



青森県広報誌



当社広報紙

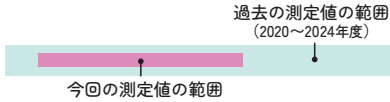
## ① 空間放射線

2025年4月～6月

各地点の測定結果は以下のとおりです。

全ての地点で「過去の測定値の範囲」を上回る値は測定されませんでした。

グラフ  
の見方



区 分	凡 例	
	青森県	日本原燃
測定地点	◆	◆

単位: ナノグレイ/時	
	20 40 60 80 100 120 140
泊(とまり)	
吹越(ふっこし)	
二又(ふたまた)	
老部川(おいっべがわ)	
尾駈(おぶち)	
室ノ久保(むろのくぼ)	
有戸(ありと)	※
平沼(ひらぬま)	
千歳平(ちとせたい)	
淋代(さびしろ)	※
谷地頭(やちがしら)	※

※ 令和7年4月から測定を開始しています。  
過去の測定値の範囲は、1年以上データを蓄積した  
時点で掲載します。



放射線と  
放射能の  
単位

ベクレル (Bq) : 放射能(放射線を出す能力)の強さを表す単位  
グレイ (Gy) : 物質が吸収した放射線の量を表す単位  
シーベルト (Sv) : 放射線の人体への影響を表す単位

〔参考〕  
ミリ (m) …… 1,000分の1  
マイクロ (μ) …… 100万分の1  
ナノ (n) …… 10億分の1

## ② 環境試料中の放射能

2025年4月～6月

各試料の測定結果は以下のとおりです。

全ての試料で「過去の測定値の範囲」を上回る値は測定されませんでした。

グラフ  
の見方



ND : 定量下限値(測定条件や精度を一定の水準に保つ  
ために定めている値)未満であることを示します。  
※ 2011年3月に発生した東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力  
発電所の事故の影響と考えられる測定値は、過去の測定値の範囲には  
含まれていません。

試料の種類		0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100	400	単 位
大気浮遊じん ↓大気中の ちりやほこり	セシウム-137	ND								ミリベクレル/立方メートル
	ストロンチウム-90	ND								
	プルトニウム-238	ND								
	プルトニウム-239+240	ND								
	ウ ラ ン	ND								
陸 水 (河川水 湖沼水 水道水 井戸水)	セシウム-137	ND								ミリベクレル/リットル
	トリチウム	ND								ベクレル/リットル
	ストロンチウム-90									ミリベクレル/リットル
	ストロンチウム-90	ND								
	プルトニウム-238	ND								
	プルトニウム-239+240	ND								
	ウ ラ ン									ミリグラム/リットル
	フ ッ 素									
牛 乳 (原 乳)	セシウム-137	ND								ベクレル/リットル
	炭 素 - 1 4									
	ストロンチウム-90	ND								
	ウ ラ ン	ND								
海 水	セシウム-137	ND								ミリベクレル/リットル
	トリチウム	ND								
	ストロンチウム-90	ND								
	プルトニウム-238	ND								
海産生物 (イカ、ホタテ、アワビ、 ヒラメ、カニ、 ウニ、コブ、 ヒラメ、チガイノ、 ムササギガイ等)	セシウム-137	ND								ベクレル/キログラム生
	トリチウム	ND								
	ストロンチウム-90	ND								
	プルトニウム-238	ND								
	プルトニウム-239+240									

※ : 今回は測定対象外

すべての調査結果は、青森県のホームページからご確認いただけます。

青森県の原子力安全対策

## こちら現場の ツカエルです

皆さまからのよくある質問にお答え  
するため、担当者にご話を聞きました！



環境管理センター 川上 菜奈  
(神奈川県出身)

Q 空間放射線の測定値が  
天候によって変動するって  
本当？

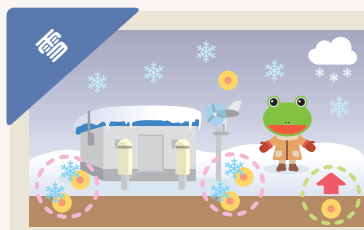


ふだん測定されているのは、主に大地や  
空気中に含まれる自然界からの放射線です。

A 空間放射線の量は、天候の変化によって大きく変動する傾向にあります。  
モニタリングステーションでは、放射線量に加え、気象データも測定しており、  
測定値が変動した場合には、天候の変化による放射線量への影響等を調査します。



雨が降ると「空気中に浮遊している放射性  
物質」が雨と一緒に地表に落ちるため、測  
定値が一時的に高くなる傾向にあります。



降り始めは雨と同様に測定値が高くなりますが、  
雪が積もると、雪が「大地からの放射線」をさ  
ざるため、測定値が低くなる傾向にあります。



私たちは、生活するうえで、  
大地や空気等の自然界から  
放射線を受けているため、  
空間放射線の測定値がゼロ  
になることはありません。